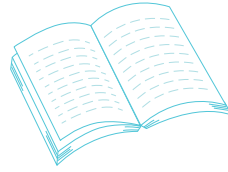




「幻想小説」は、 書かれている内容によってではなく、 読者に対する機能によって 定義されるのではないか。



ツヴェタン・トドロフという人は、1970年に書いた『幻想文学論序説』で、幻想文学とは何かという難題を追究しました。ただし、この書においてトドロフは、幻想文学の定義を簡潔に書きませんでした。饒舌に、もったいぶって、文学的な文体で書いています。トドロフの新しさは、幻想文学を、読者に対する機能に着目して考えたことでした。トドロフが考えたことを取り入れて、幻想小説とは何か、をトドロフよりも分かりやすく説明すれば、次のようになります。《近代的な読者は読む行為の途中で非現実的事柄に直面した場合に、その都度それに対して合理的説明が可能か否かの判断を試みる。そのような判断が決め難い「ためらい」が「幻想」を喚起する。そのような「ためらい」を読者に喚起する小説が「幻想小説」である。》

藤澤 秀幸 教授

●ふじさわ・ひでゆき
1957年東京都生まれ。東京大学文学部国文学科卒業。在学中に「東宝現代劇付属研究所」(現在は「東宝現代劇養成所戯曲科」)に2年間所属した。東京大学大学院博士課程満期退学。1992年から清泉女子大学の専任教員。専門は、泉鏡花、島崎藤村、幻想文学。



教えて藤澤先生!

読み継がれる文豪に出会える 近代文学

明治・大正・昭和・平成の文学が近代文学です。さらに、平成の文学を現代文学として分ける場合もあります。まず、日本人の教養として、日本の近代文学の歴史、重要な作家、重要な作品を学びます。それと平行して、文学作品を研究するために必要な基礎的なノウハウを学び、作品研究のお手本として、良い研究論文を読みます。そして、自分で作品を論じます。好きな日本の近代文学を具体的に研究することによって、調査力、論理的思考力、口頭表現力、文章表現力が向上します。

ひとこと解説

近代文学は、研究対象が豊富で、^{よほど}取り見取り。だから、卒業論文が書きやすい。

近代文学は何を学ぶの?



初版本『高野聖』

装丁と口絵は著名な日本画家の鏡木清方かがらぎ きよかたです。箱は無く、その代わりにカバーが付いていますが、カバーには「鏡花作 清方画」とあります。鏡花の生前の単行本は、一流の画家と組んで作られた美術品のような本で、「鏡花本」と呼ばれています。初版本『高野聖』は「鏡花本」の名品の一つです。

藤澤先生って どんな先生?

◆泉鏡花への愛 ◆思考回路がすごい ◆かっこいい ◆物腰柔らかい ◆いつもニコニコしている ◆いつも落ち着いている ◆くまさん ◆ピースがかわいい ◆丁寧 ◆細かいところまで道筋を立てて、後で学生が困らないようにして下さる、縁の下の力持ち。 ◆授業内容と関連した雑談のおかげで、作品の内容を覚えていられる。 ◆レポートに使う作品を探していたら、先生の学生時代の卒業論文に巡り合いました。 ◆授業で映画を扱う(映画好き?) ◆以前、琉球使節の行列のような柄のアロハシャツを着ていた!

[回答:藤澤先生ゼミナール生]